

2022年度 豊友会中部支部「秋の集い」報告

中部支部 大脇孝行

2022年度中部支部“秋の集い”が、5月に開催された春期総会に引き続いて対面開催されました。コロナ禍も沈静化に向かい、金華山が紅葉で色づくなかで、ホテルリソル岐阜(岐阜市)において、48名の参加者の集いとなりました。会場内では、会員の方々同士の久しぶりの再会を懐かしみ、お互いの近況報告の会話が溢れた和やかなムードの会となりました。以下にその概要を報告致します。



□第一部 11:00~12:00 司会・進行 横山副支部長

司会による開会宣言が行われ、その後プログラムに沿って滞りなく進められました。また、開会の辞の後に、この9月に逝去された故 石橋泰雄さんの冥福を祈って黙祷が行われました。

1、支部長挨拶

羽賀支部長

冒頭挨拶の後、下記の事項について述べられました。

・2022年度上期活動実績、および下期活動計画などの報告

次年度春期総会、同好会活動実績、および下期活動計画について説明されました。特に同好会活動については、沈静化されつつあるコロナ禍の中で野外活動も再開され、活動が活発化されつつある状況についても報告されました。

・今後の豊友会の活動についての報告

総会等に直接参加しにくい会員の方々に対しての情報活動を充実していきたい。また、新入会員の入会率が非常に低いために、会の魅力をアップさせ、今後の入会率を高めて行きたいと報告されました。

2、賀寿祝い者紹介

横山副支部長

・米寿3名、傘寿6名、喜寿7名の方々が紹介されました。

3、豊友会本部挨拶

豊友会本部事務局 濱田裕二氏

冒頭挨拶の後に、本社の状況説明がなされました。

- ・10年前は、ほぼ全員が入会していたが、現状は、会員の意識変化（意識の低下）や内なる逆風、即ち新卒採用に加えてキャリア採用が増えたり、新入社員の他社へのトラバークなどにより社の歴史感が薄れ、会の存在感が薄れてきている。
- ・また、外からの逆風として、コロナ禍が日常生活を変え、様々な活動を制限された状態にある。そのような中で会員各位への情報発信は必須であり、それをもとに会員からの積極的な提言がなされるような活動を進めていく。
- ・「息災」「感謝」「継続」を基本に今後の活動を続けていくとのことでした。

4、講演会 —エーザイ(株)および川島工園の現況と展望—

川島工園長 小島史靖氏

以下の項目について説明がなされ、日頃、エーザイの活動から離れている私たちにとって、有意義で興味ある内容でした。

- ・川島工園の歴史紹介
- ・各種川島工場内の施設紹介
川島工場（ビデオ紹介）、新抗がん剤棟、新カフェテリア棟（建設途中）
- ・その他
秋篠宮殿下来川対応、
レカネマブ（レケンビ）の説明

【集合写真撮影】

- ・続いて、元気な姿をアピールしながら、参加者全員の集合写真を撮りました。



□第二部 懇親会 12：20～14：00 司会 小島

・続いて、来賓の小島工園長から開会のご挨拶および乾杯の御発声を頂いた後、親睦会が開始されました。コロナ禍は収束の方向にあるものの、今回は、マスク会席となりました。また、会員同士の楽しい語らいのなかで、ビンゴゲームで一喜一憂しながら、大変楽しく有意義なひと時を過ごすことができました。



最後は、小倉氏に締めめの挨拶と手拍子の音頭を取って頂き、閉会となりました。次回はコロナ禍が収束し、更に多くの参加者のもとで更に楽しく有意義な会を催すことができることを祈念しながら帰途につきました。